

## 4 友だちをお願いする

### SST 指導者(教師)

### ポイント

ウォーミングアップ

これからソーシャルスキル・トレーニングを始めます。始めに〇〇ゲームをしましょう。(SSTの流れ参照)

子どもが、これから始める SST に楽しく参加できるように、学級の実態に合わせてゲームや話をしてウォーミングアップをします。みんなが穏やかな気持ちでトレーニングに参加できるようにしましょう。

モチベーション



今日のテーマは「友だちをお願いする」です。

一人ではできないことがあります、友だちに手伝ってほしい時には、どのようにお願いするとよいでしょうか。※1

お願いする時の言いにくさやお願いできなかった経験について、出し合います。難しさについて、共感できるようにしましょう。

※1 「なかなか言い出せなくて困ったことはある?」「その時はどんな気持ちだった?」など具体的に聞くのもいいですね。

モデリング



先生から、誰か友だちを呼んで二人で荷物を教室に運ぶように頼まれました。一人では運べないので、手伝ってもらう友だちを探さなくてはなりません。二つのお願いのし方をやってみますので、よく見ていてください。お願いされる友だち役はA先生にやってもらいます。※2

※2

1回目:何も言えず立ち尽くす。何とってよいかわからず小さな声で独り言のように言う。(よくないモデル)

A先生:お願いが伝わらない。

2回目:「先生から地球儀を運ぶように頼まれたから、一緒に運んでくれるかな。お願い。」(よいモデル)

A先生:「いいよ!」

どのように違いましたか?※3

ポイント

表情: やわらかく

声: はっきり

目線: 目線を合わせて

姿勢: 相手に向けて

身振り手振り

※3 表情や声、目線、姿勢や身振り手振り等、子どもの気付きを共有しながら、お願いする時のポイントを確認します。ポイントは板書や模造紙に残し、確認できるようにします。

※4 練習でも子どもは緊張します。心の準備ができた子どもから取り組みませ、担任がほめることで、温かな雰囲気をつくりましょう。

※5 一人一人のロールプレイの後によいところを伝え、フィードバックを行うことで、意欲も高まります。

できないときは「パス」してよいことを伝えましょう。

(例)優しいお願いのし方でしたね。

笑顔で伝えていましたね。

上手なお願いのし方ができた友達に拍手を贈りましょう。

※6 取り組んだことを認め、励ますとともに、継続して取り組むことが重要です。

※7 できないことを指摘するのではなく、練習して、できたことを褒めることで、よりよいコミュニケーションの意欲付けを図り、子どもの健やかな成長につなげていきましょう。

※8 数日後に、振り返り、確認して日々の取組を価値付け、励ましましょう。

ロールプレイ



では、2回目のおお願いの仕方を順番に練習してみましょう。友だち役はA先生がやりますね※4



「手伝ってほしい」と言われた時には、できるだけ断らずに「一緒にやろう」と言えるといいですね。※5

チャレンジ



これから、上手にできたときに、先生に教えてくださいね。上手なお願いのし方ができた友だちを見つけたときも、教えてくださいね。※6 ※7

振り返り・価値付け



数日後

皆さん、上手に友だちをお願いしたり、友だちからお願いされたときに「一緒にやろう」と言ったりすることはできていますか。※8

※ 「友だちをお願いする」ソーシャルスキル・トレーニングと「お願いを引き受ける」ソーシャルスキル・トレーニングはセットで取り組むと効果的です。